

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、当事業年度より連結子会社FLIGHT SYSTEM USA Inc.の重要性が乏しくなったことから、同社を連結範囲から除外したことにより連結子会社がなくなり、非連結での開示となったため、前年度との比較分析は行っておりません。

当事業年度におけるわが国経済は、資材価格の上昇や急激な円安等による影響が懸念される中、各種政策等による持ち直しが期待されておりますが、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社は、事業会社向けのシステム開発・保守、並びに電子決済ソリューション「Incredist」シリーズやAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズの開発・販売等に注力いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高3,063百万円、営業損失298百万円、経常損失333百万円、当期純損失382百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① SIソリューション事業

SIソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発・保守等を行いました。

顧客都合による開発プロジェクトの中断に伴う損失の発生等により、当初計画を下回る結果となり、売上高は1,160百万円、営業利益は144百万円となりました。

② 決済ソリューション事業

決済ソリューション事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」及び無人精算機向け決済ソリューションの開発・販売、並びにマイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス「myVerifist」の開発に注力いたしました。

上記ソリューションの開発費が発生した一方、当期に売上を計画していた「Incredist」シリーズの大口案件が来期に期ずれしたこと等により、売上高は1,780百万円、営業損失は101百万円となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」及び新バージョン「EC-Rider B2BⅡ」の開発及び販売に注力いたしました。

「EC-Rider B2B」のセキュリティ強化並びに新バージョン「EC-Rider B2BⅡ」の立ち上げに注力した結果、売上高は122百万円、営業損失は48百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、前事業年度末と比べ144百万円減少し、1,509百万円となりました。主な増減要因は、商品の減少(103百万円減)、現金及び預金の減少(93百万円減)及びソフトウェアの増加(72百万円増)であります。

負債は、前事業年度末と比べ218百万円減少し、1,005百万円となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加(150百万円増)、社債の減少(118百万円減)及び長期借入金の減少(104百万円減)であります。

純資産は、前事業年度末と比べ74百万円増加し、503百万円となりました。主な増減要因は、資本金及び資本剰余金の増加(457百万円増)、当期純損失の発生(382百万円)であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、主として当期純損失の計上、無形固定資産の取得による支出及び株式の発行による収入により、当事業年度末は453百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は75百万円となりました。これは主に、税引前当期純損失381百万円の計上、減価却費196百万円の計上及び棚卸資産の減少額106百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は349百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出282百万円及び有形固定資産の取得による支出66百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は331百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入445百万円、短期借入金純増額150百万円及び社債の償還による支出148万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
自己資本比率(%)	42.0	46.2	48.9	26.0	33.4
時価ベースの自己資本比率(%)	540.6	472.9	403.4	177.8	203.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注4）2021年3月期から2024年3月期までのキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、連結キャッシュ・フローを作成していたため記載しておりません。

2025年3月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	上半期			通 期		
	当期(実績)	次期(予想)	当期比	当期(実績)	次期(予想)	当期比
売上高	1,402	1,290	△112	3,063	4,230	1,167
営業利益	△235	△220	15	△298	100	398
経常利益	△253	△230	23	△333	80	413
当期純利益	△254	△230	24	△382	70	452

次期の見通しにつきましては、SIソリューション事業については、既存顧客向けのシステム開発、DX推進支援、並びに「Google Workspace」等のクラウドサービスを活用したシステム開発支援に注力してまいります。

決済ソリューション事業については、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズの開発及び拡販、電子決済ソリューションにおいて国内製造となる新モデル「Incredist Premium III」の拡販、同様に国内製造を開始する「Incredist Trinity」の拡販、並びに無人自動精算機向け決済端末「VP6800/IFC」の拡販に注力してまいります。なお「Tapion」につきましては、法人向け案件で多くの引合いを頂いており、既に受注した法人案件も出ております。次期以降、手数料収入等のストックの収入の大幅増大を計画しており、これにより経営の安定化を図ります。

ECソリューション事業については、ECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の拡販に注力してまいります。

次期の業績は、売上高は4,230百万円(当期比38.1%増)、営業利益は100百万円(当期は営業損失298百万円)、経常利益は80百万円(当期は経常損失333百万円)、当期純利益は70百万円(当期は当期純損失382百万円)の見通しであります。

上記業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、予想数値を確約又は保証するものではありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	546,780	453,606
売掛金	301,133	254,610
契約資産	2,019	33,268
商品	174,383	70,764
原材料	48,653	43,417
仕掛品	228	5,501
前払費用	27,864	28,045
前渡金	12,967	—
その他	31,091	23,642
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	1,144,122	911,857
固定資産		
有形固定資産		
建物	34,374	42,679
減価償却累計額	△23,425	△23,762
建物（純額）	10,949	18,917
工具、器具及び備品	258,812	310,964
減価償却累計額	△201,175	△257,851
工具、器具及び備品（純額）	57,636	53,112
有形固定資産合計	68,586	72,029
無形固定資産		
ソフトウェア	237,996	310,921
ソフトウェア仮勘定	131,542	126,035
無形固定資産合計	369,539	436,956
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	112,043	110,644
敷金及び保証金	67,156	67,156
その他	4,380	3,828
貸倒引当金	△112,000	△92,700
投資その他の資産合計	71,580	88,929
固定資産合計	509,706	597,915
資産合計	1,653,828	1,509,773

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	230,440	147,050
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	93,504	78,700
1年内償還予定の社債	148,000	118,000
未払金	93,098	77,443
未払費用	33,304	20,680
契約負債	26,704	6,915
未払法人税等	12,280	13,188
未払消費税等	10,715	22,375
預り金	6,321	6,409
製品保証引当金	6,000	—
その他	60	733
流動負債合計	660,429	641,496
固定負債		
長期借入金	296,640	192,592
社債	244,000	126,000
資産除去債務	16,579	21,077
関係会社事業損失引当金	4,700	24,700
繰延税金負債	2,200	—
固定負債合計	564,119	364,369
負債合計	1,224,548	1,005,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,433,784
資本剰余金		
資本準備金	1,195,798	1,424,459
資本剰余金合計	1,195,798	1,424,459
利益剰余金		
利益準備金	7,132	7,132
その他利益剰余金		
別途積立金	69,367	69,367
繰越利益剰余金	△2,046,689	△2,429,384
利益剰余金合計	△1,970,189	△2,352,884
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	429,279	503,906
純資産合計	429,279	503,906
負債純資産合計	1,653,828	1,509,773

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,693,562	3,063,284
売上原価	1,416,147	2,693,573
売上総利益	277,415	369,711
販売費及び一般管理費	428,120	668,644
営業損失(△)	△150,705	△298,933
営業外収益		
受取利息	5,863	133
助成金収入	4,085	2,434
為替差益	13,123	—
その他	—	73
営業外収益合計	23,071	2,641
営業外費用		
支払利息	3,279	10,788
為替差損	—	3,270
株式交付費	—	17,032
支払手数料	5,573	—
その他	4	5,682
営業外費用合計	8,857	36,773
経常損失(△)	△136,491	△333,065
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	73,466	—
関係会社貸倒引当金戻入額	—	19,300
関係会社事業損失引当金戻入額	—	—
特別利益合計	73,466	19,300
特別損失		
減損損失	—	47,837
関係会社貸倒引当金繰入額	13,200	—
関係会社事業損失引当金繰入額	3,000	20,000
特別損失合計	16,200	67,837
税引前当期純損失(△)	△79,225	△381,603
法人税、住民税及び事業税	1,291	3,292
法人税等調整額	—	△2,200
法人税等合計	1,291	1,092
当期純損失(△)	△80,517	△382,695

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								新株 予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計				
				別途積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	1, 205, 123	1, 195, 798	7, 132	69, 367	△1, 966, 172	△1, 889, 672	△1, 452	509, 796	－	509, 796
当期変動額										
新株の発行 （新株予約権の 行使）										
当期純損失 （△）					△80, 517	△80, 517		△80, 517		△80, 517
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）									－	－
当期変動額合計	－	－	－	－	△80, 517	△80, 517	－	△80, 517	－	△80, 517
当期末残高	1, 205, 123	1, 195, 798	7, 132	69, 367	△2, 046, 689	△1, 970, 189	△1, 452	429, 279	－	429, 279

当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							新株 予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金合 計
				別途積立金	繰越利益剰余 金					
当期首残高	1, 205, 123	1, 195, 798	7, 132	69, 367	△2, 046, 689	△1, 970, 189	△1, 452	429, 279	—	429, 279
当期変動額										
新株の発行 （新株予約権の 行使）	228, 660	228, 660						457, 321		457, 321
当期純損失 （△）					△382, 695	△382, 695		△382, 695		△382, 695
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）									—	—
当期変動額合計	228, 660	228, 660	—	—	△382, 695	△382, 695	—	74, 626	—	74, 626
当期末残高	1, 433, 784	1, 424, 459	7, 132	69, 367	△2, 429, 384	△2, 352, 884	△1, 452	503, 906	—	503, 906

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純損失 (△)	△381,603
減価償却費	196,916
支払利息	10,788
売上債権の増減額 (△は増加)	15,273
棚卸資産の増減額 (△は増加)	106,900
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83,390
契約負債の増減額 (△は減少)	△19,789
前渡金の増減額 (△は増加)	12,967
その他	84,509
小計	△57,427
利息及び配当金の受取額	133
利息の支払額	△12,667
法人税等の支払額	△5,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	△75,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△66,986
無形固定資産の取得による支出	△282,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000
長期借入金の返済による支出	△118,852
社債の償還による支出	△148,000
株式の発行による収入	445,258
新株予約権の発行による収入	3,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93,174
現金及び現金同等物の期首残高	546,780
現金及び現金同等物の期末残高	453,606

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している子会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい非連結子会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業部を置き、各々が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「SIソリューション事業」、「決済ソリューション事業」及び「ECソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「SIソリューション事業」は、物流系や金融系を中心とした事業会社向けのシステムコンサルティング、システム開発・保守、並びにクラウドサービスを活用したシステム開発支援等を行っております。

「決済ソリューション事業」は、自社製品の電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」及び無人自動精算機向け決済ソリューション等の開発・販売、並びにマイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス「myVerifist」の開発を行っております。

「ECソリューション事業」は、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売、並びに本パッケージ導入に係るコンサルティングやシステム開発及び保守を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	財務諸表計上額
	SIソリューション事業	決済ソリューション事業	ECソリューション事業			
売上高						
一時点で移転される財	254,216	1,176,919	35,956	1,467,092	-	1,467,092
一定の期間にわたり移転される財	906,274	603,688	86,229	1,596,192	-	1,596,192
顧客との契約から生じる収益	1,160,491	1,780,607	122,185	3,063,284	-	3,063,284
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,160,491	1,780,607	122,185	3,063,284	-	3,063,284
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,160,491	1,780,607	122,185	3,063,284	-	3,063,284
セグメント利益又は損失(△)	144,668	△101,116	△48,583	△5,031	△293,901	△298,933

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	45円40銭	42円87銭
1株当たり当期純損失(△)	△8円52銭	△38円61銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	429,279	503,906
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	429,279	503,906
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,455,496	11,755,496
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△80,517	△382,695
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△80,517	△382,695
期中平均株式数(株)	9,455,496	9,911,222

(重要な後発事象)

該当事項はありません。